

## 文化経済戦略の考え方について

資料2

## 文化経済戦略の策定にあたっての基本認識

## 国際社会における文化

国のプレゼンスを高める要素として  
文化の意義や重要性が向上

## 我が国の文化

世界に誇るべき多様で豊かな  
文化芸術資源が存在

## 経済における文化

産業競争力を決定づける  
“付加価値の創出”に文化が寄与

**国、地方自治体、企業、個人が文化への戦略的投資を拡大**  
**文化芸術を起点に他分野と連携した創造的活動によって新たな価値を創出**  
**その新たな価値が文化に再投資され、持続的な発展に繋がる好循環を構築**

## 文化経済戦略策定にあたっての重要な視点

## (1) 未来を志向した文化財の着実な継承と更なる発展

新たな創造的活動の大前提



## (2) 文化への投資が持続的になされるシステムの構築

新たな価値が文化芸術に再投資されるメカニズム



## (3) 文化経済活動を通じた地域の活性化

地域文化芸術資源の活性化による地方創生



## (4) 双方向の国際展開を通じた日本のブランド価値最大化

海外市場開拓と世界の文化・芸術家が日本に集う環境の創出



## (5) 文化経済活動の推進のための国民的参画・理解促進

多様性や創造性の発揮の源泉



## (6) 2020年を契機とした次世代に誇れる文化レガシー創出

2020年以降も見据えた起爆剤



## 重点戦略

文化芸術資源  
(文化財) の保存

- ・文化財保護制度の見直し
- ・文化芸術資源(文化財)やそれに係る技能、知見継承支援

文化芸術資源の  
活用

- ・文化財活用センター創設
- ・史跡等の総合活用整備
- ・美術館、博物館を中核としたクラスター形成

文化芸術活動の  
振興

- ・舞台芸術の水準向上支援
- ・文化プログラム推進

新たな需要  
付加価値の創出

- ・国際文化芸術発信拠点形成
- ・アート市場の活性化
- ・文化を核としたベンチャー創出

文化経済戦略の  
推進基盤の強化

- ・各省庁協働による文化関連政策の総合的推進